災害発生! ~その時私たちにできること~

災害が発生した時、障害のある人の多くは、情報を得ることや、その場の状況を理解して避難行動をとることがとても難しくなります。

そんな時、その場に居合わせたひとりひとりの手助けがとても大切になります。まずは自分の身の安全を確保し、その後、周囲を見渡してください。管 さんの手助けを必要としている人が必ずいます。

ヘルプカードを持っていないか確認してください。持っている場合は、その 内容に従って支援をしてください。また、その時の本人の希望も確認しなが ら支援をすることも大切です。







私たちがサポートできること

- やさしく落ち着いた声で真体的にゆっくりと話をしてください。 (例)「何かお手伝いできることはありますか?」「ここにいるとケガをするので、私と安全な所に行きましょう。」など
- ●会話が難しい場合や話が伝わらない場合は、筆談や ジェスチャーを使って伝えてみましょう。
- ●話が伝わっているか時々確認しましょう。
- ●移動する時は、押したり、引っ張ったりせず、一声かけてから相手 のペースに合わせて下さい。
- ●知的障害や発達障害の人の中には、触れられるのが苦手な人もいます。また、落ち着くために、変った行動をとる人もいます。

その時は、無理に触れたり、行動を止めたりせずにデ かけや見守りなどのサポートをお願いします。



福祉避難所とは?

でなんじょ せいかつ とく こんなん ごうれいしゃ しょうがいしゃなど いちじてき う い おこな 避難所で生活することが特に困難な高齢者や障害者等の一時的な受け入れを行います。 さいがいたいさくほんぶ ひつよう みと ぱあい かいせつ かつどう おこな 災害対策本部が必要と認めた場合に開設し、活動を行います。

しょうがいしゃしえんしせつ ぶんきょう くない とくべつよう ごろうじん せっち 障害者支援施設リアン文京、区内の特別養護老人ホームなどに設置します。

ひなんこうどうよう し えんしゃめいぼ とうろくせい ど 波挙行動亜支援老夕簿祭録制度とけ?

はまがい かた こうれいと さいがいと とく し れん ひつよう かた たいしら めいぼ さくせい あんで 障害のある方や高齢者など、災害時、特に支援が必要な方を対象に名簿を作成し、安否 がくた ひなん し れん やく だ 確認や避難支援などに役立てます。

と あ さき ぼうさいか ぶんきょう 問い合わせ先:防災課 (文京シビックセンター 15 階)

電話 5803-1179 FAX 5803-1344



